

寒さに負けず 元気に凧揚げ

公民館講座「陣屋跡 親子凧揚げ大会」が1月10日、元陣屋資料館で開催され、子どもたちが凧作りに挑戦し、青空にオリジナルの凧を舞わせました。

親子15人が参加しました。日本の凧の会会員の舟橋寛次さん(71)＝町内在住＝の指導で、えとの寅年にちなんだ絵柄や人気キャラクターを描き、骨組みを作り、1時間ほどで完成。早速野外に飛び出し、マスクごしに「わーっ」と声を張り上げながら雪の上を元気に走り回っていました。同会会員による連凧揚げも披露され、トラが描かれた約100連の凧が参加者の目を楽しませました。(広報編集室)



～絵本を読もう～

0歳

擬音・擬態語が入っているもの。
視力がまだ弱いので原色の方が興味をもちやすいかもしれません。

1歳

絵や仕掛けで楽しめるもの。
生活にある身近なもの。順に関係なく気に入ったところを繰り返し読んでもいいよ。

2歳

食べ物や「ねんね」「おはよう」「おいしい」など生活の中でよく使う言葉が出てくるもの。

3歳

簡単な流れのある物語。
読み終わった後、大人の方から感想を言ってみる。

できた!



言語聴覚士

絵本は、親のコミュニケーションの回路になる。遊び道具として、個人差もある。めんどくさい、興味がない、無理強いはせず、大人でも楽しめるように。



絵本は大人が関わり合って遊ぶ道具です

「順番通りに…」 「ストーリーを解さず…」 「子どもに興味や関心がないで、遊び道具として絵本を使ってしまう。読み聞かせに、いろいろな考えがある。まずは「遊び」として絵本に親しめるよう「どうなるんだらう?」と会話を膨らませたり、動物の動きに合わせて絵本を動かしたりするのでもいいでしょう。玩具として「楽しい」と思えたら、それが絵本好きになるための一歩になります。

町子ども発達支援センターひだまり (萩野小学校内) ☎83-3700

女性サロン陽だまりの家「ラポラポ」(2月)

講座・イベント情報	日時・会場	講師
メルカリ挑戦講座	5日(土) 13～15時 カフェ「ミナパチセ」	ラポラポスタッフ
ラテン文化&サルサダンス講座	19日(土) 11～13時 観音寺(虎杖浜)	シルベストレ・バルガスさん(通訳・ガイド・教室講師)
珈琲の淹れ方講座	25日(金) 10～12時 カフェ「ミナパチセ」	「BLUE SALMON」
背骨コンディショニング講座	26日(土) 10～12時 社台生活館	黒澤俊陽さん(背骨コンディショニング協会認定パーソナルトレーナー)

【定期開催】 「アイヌ文様刺しゅう講座」2月11・12・25日 14～16時 「ママカフェ」2月24日・3月17日 11～13時 (ともに会場はカフェ「ミナパチセ」) 「介護(健康)講座」2月16日 10～12時 (萩野公民館)

【通常サロン】 10～15時 カフェ「ミナパチセ」 【移動サロン】 11～15時
※サロン利用、講座参加無料 公式フェイスブック(右QRコードから)で情報発信しています。気軽に相談してください。



問い合わせ先: NPO法人ウテカンパ ☎080-1874-3624